

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	グループホーム ゆい 青葉		
サービス種別	認知症対応型共同生活介護		
所在地	横浜市青葉区荏田町1288		
担当者	辻 直哉	連絡先	045-912-6461
運営法人	株式会社 ゆい		

2. 開催日時・場所

日時	令和7年2月18日 16時15分 ～ 16時30分	場所	オンライン
----	---------------------------	----	-------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
	利用者又は利用者の家族	参加なし
■■■■■	地域住民の代表者	民生・児童委員
■■■■■	地域住民の代表者	自治会長
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	歯科医師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	看護師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	ほっと青葉
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	社会福祉士
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	社会福祉士
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	保健師

4. 活動状況報告

別紙(様式4)のとおりに

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

地域支援者：

いろいろ事故が起きてしまっていることについてもしっかり検討されていて、事故がないのが一番ですが、今後もしっかり続けて欲しい。

ヒヤリハットも(多いといけない気がしてしまうが)0ではいけないんですよね。

包括：

誤薬事故について、(多機能型とグループホームという)施設ごとの違いが分かり、外国籍の方への配慮とかお仕事大変だと思います。引き続き頑張ってもらいたいと思います。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

①事故が起きないようにヒヤリハットを活用していくが、起きてしまった事故についてはしっかり検討する。発表の表題にあったように「誤薬事故ゼロにむけて」取り組んでいく。

②運営推進会議を通じてサービスについてもご理解いただき、地域の方から施設利用などについてご相談をいただくことができており、ありがたいと思います。

7. 地域からの情報提供

包括：

認知症カフェは来年度も同じような形で認知症の方に限らず参加できるような交流カフェを行う予定です。是非参加してください。

ほっと青葉：

老々介護を終わって、一人暮らしになってからの生活をどうしたらよいのか、という課題もあります。今後、介護者さんの集いのほかに、介護を終えて一人になった方の集いもしたいと考えておりますので、お声掛けさせていただきます。

8. その他特記事項

特になし

活動状況報告書(認知症対応型共同生活介護)

1. 基本情報

事業所名	グループホーム ゆい青葉 (1F)		
所在地	横浜市青葉区荏田町1288		
担当者	辻 直哉	連絡先	045-912-6461
運営法人	株式会社 ゆい		

2. 登録者の状況 平均要介護度は3.2となります。

登録者数(1月 31日現在)	女性 7 名		男性 1 名		計 8 名		
要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	名	名	1 名	2 名	1 名	2 名	2 名

3. 運営方針

事業所の目標	事業所の理念: その人らしく生きる～その一瞬を大切に～ 今年度目標: 「チャレンジ、成長、自律と自立」
目標に向けた 具体的取組	【事業所のしつらえ・環境】 ・ご利用者が何かやってみたいと思える環境づくり 【事業所と地域のかかわり】 ・ご利用者様のやりたいことを個別に実現していく ・地域と関わる機会を設ける(例: 地域の行事にご利用者様と参加) 【業務・職員について】 ・業務効率化に向けてICTの活用 ・研修、勉強会の充実化(感染症・看取りケア・医療連携など) ・スタッフの成長をサポート新しい役割を与えてみる

4. 活動報告

○社内研修 ・ジョブメドレーEラーニングの研修実施 研修内容 【11月】認知症及び認知症ケアに関する研修 【12月】事故発生又は再発防止に関する研修 【1月】ターミナルケアに関する研修 ・1月 嘔吐物処理訓練 ・1月 虐待防止一斉点検の実施 ○社外研修 ・認知症チームケア推進のための実践方法について学ぶ研修 ○行事 11月 百寿お誕生日会、あざみ野アートギャラリー美術レク、認知症カフェ、ハロウィンレク 12月 クリスマス会、外食レク 1月 お正月レク * フラワーアレンジメント・・・毎月第2・第4木曜日 希望者のみ参加
--

5. 健康管理

11月1日～1月31日の間でスタッフ1名がインフルエンザに感染があったが、施設内での感染はなし。スタッフ全員でスタンダードプリコーションを意識し、マスク着用及び手指消毒を徹底していく。

6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	事故・・・2件(内行政報告2件) ヒヤリハット・・・3件 ①転倒事故 10/18 22時半頃、居室より大きい音がしたため確認すると、ベット前床に座っていた。 左前腕外側に10cm×5cmの表皮剥離、後頭部打撲あり。夜間、臨時往診にて表皮剥離を治療してもらう。翌日、横浜新都市脳神経外科病院受診。CT検査の結果、頭部異常なし。 訪問看護に表皮剥離の治療を依頼し、現在は完治している。 ②服薬事故 11/11 16:30頃、日中下痢が続いていたため、昼食後薬マグミットを 除薬しようとしたが、昼食後にはマグミットを服用しておらず、間違えてビオフェルミンを 除薬していたことに気が付いた。主治医に報告し、様子観察指示。その後変わりなく過ごされる。 ヒヤリハット 3件 ①転倒・転落の危険性(2件) ②誤嚥、むせこみのリスク(1件)
改善策	原因①・・・前日発熱、体調不良だったが、当日は問題なく自立して歩行できていたため 対策をとっていなかった。 対策①・・・体調不良者の転倒の可能性がないか申し送り時に確認していく。 必要に応じてセンサーを使用していく。 原因②・・・スタッフ間で薬の中止を確認したが口頭のみで、薬袋に記載されている薬名の 確認を行っていなかった。 対策②・・・薬を中止する際は、必ず薬袋に記載されている薬名を確認する。

7. 地域への情報提供

2/26 避難訓練を予定
3/10にゆい青葉正面のコインパーキング閉鎖予定

8. その他特記事項

12月職員1名入社
1月末にて職員1名 退職
2月よりパートスタッフ1名異動予定

活動状況報告書(認知症対応型共同生活介護)

1. 基本情報

事業所名	グループホーム ゆい青葉 (2F)		
所在地	横浜市青葉区荏田町1288		
担当者	辻 直哉	連絡先	045-912-6461
運営法人	株式会社 ゆい		

2. 登録者の状況 平均要介護度は3.0となります。

登録者数(1月 31日現在)	女性 5 名		男性 3名		計 8 名		
要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	名	名	1名	2名	2名	2名	1名

3. 運営方針

事業所の目標	事業所の理念: その人らしく生きる～その一瞬を大切に～ 今年度目標: 「チャレンジ、成長、自律と自立」
目標に向けた 具体的取組	【事業所のしつらえ・環境】 ・ご利用者が何かやってみたいと思える環境づくり 【事業所と地域のかかわり】 ・ご利用者様のやりたいことを個別に実現していく ・地域と関わる機会を設ける(例: 地域の行事にご利用者様と参加) 【業務・職員について】 ・業務効率化に向けてICTの活用 ・研修、勉強会の充実化(感染症・看取りケア・医療連携など) ・スタッフの成長をサポート新しい役割を与えてみる

4. 活動報告

○社内研修 ・ジョブメドレーEラーニングの研修実施 研修内容 【11月】認知症及び認知症ケアに関する研修 【12月】事故発生又は再発防止に関する研修 【1月】ターミナルケアに関する研修 ・1月 嘔吐物処理訓練 ・1月 虐待防止一斉点検の実施 ○社外研修 ・認知症チームケア推進のための実践方法について学ぶ研修 ○行事 11月 百寿お誕生日会、あざみ野アートギャラリー美術レク、認知症カフェ、ハロウィンレク 12月 クリスマス会、外食レク 1月 お正月レク * フラワーアレンジメント・・・毎月第2・第4木曜日 希望者のみ参加
--

5. 健康管理

11月1日～1月31日の間でスタッフ1名がインフルエンザに感染があったが、施設内での感染はなし。スタッフ全員でスタンダードプリコーションを意識し、マスク着用及び手指消毒を徹底していく。

6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	事故・・・6件(内行政報告5件) ヒヤリハット4件 ①転倒事故 10/19 1時15分頃、居室内で転倒されているのを発見。痛み、ケガ等なし。その後お変わりなく過ごされる。 ②③④服薬事故(3名) 10/30 8時頃、早番スタッフが昨日の就寝前の薬ボックスが棚に残っているのを発見。明けスタッフに確認すると3名の入居者の与薬を忘れていた。クリニックに報告し、様子観察となる。 ⑤転倒事故 11/6 11:45頃、昼食の声掛けのため居室に行くと床に座っているのを発見する。壁に後頭部をぶつけたと話す。バイタル異常なし、臀部に擦ったような跡があったが痛み等なし。クリニックに報告し、頭部をぶつけられていたため横浜新都市脳神経外科病院受診。検査は異常なし。施設に戻りいつも通り生活される。 ⑥転倒事故 午前1時15分頃、居室から大きい音がしたため訪室すると両膝をついてうずくまっていた。夜間臨時往診にて診てもらい、肋骨骨折の疑いがあると診断。翌朝横浜新都市脳神経外科受診し、レントゲンの結果打撲と診断される。 ヒヤリハット 4件 ①転倒・転落の危険性(2件) ②異食の危険性(1件) ③誤薬ヒヤリ (1件)
改善策	①原因・・・歩行不安定のため夜間センサーを使用している方。スタッフは書類確認のため、1F事務所行った際、センサーを持っていくのを忘れてしまった。その間に入居者はトイレに行こうと起き上がり転倒となってしまった。 ①対策・・・基本フロアから離れないようにする。フロアを離れる必要がある場合は、巡視し落ち着いていることを確認し、センサーを持ち運ぶ。 ②③④原因・・・戸棚から眠前薬のケースを出していなかったため、就寝介助前に与薬を忘れてしまった。眠前薬のケースは戸棚から出して目の見える位置に置いていたが事故当日は入れたままだった。 ②③④対策・・・眠前薬のケースは遅番と夜勤者で戸棚から出し、忘れないよう目の付く場所に置くようにする。 ⑤原因・・・昼食のためフロアに行こうといつも持っている手さげかばんを持っていこうとしたところバランスを崩された。手さげカバンには私物が多く入っており重たかった。日中の活動量が少ないため筋力維持ができていない。 ⑤対策・・・本人と相談し、手さげカバンには必要なものだけとし軽くした。階段の昇り降り、手すりを使ってスクワットなど安全に動ける機会を提供し、日中の活動量を増やしていく。 ⑥原因・・・夜間目が覚め立ち上がろうとしたが、起床直後だったためふらつき転倒したと思われる。ふらついた際掴まれるところがなかった ⑥対策・・・転倒予防のため、ベッド起き上がる際、掴まれるよう椅子をベッド近くに設置する。

7. 地域への情報提供

2/26 避難訓練を予定
3/10にゆい青葉正面のコインパーキング閉鎖予定

8. その他特記事項

12月職員1名入社
1月末にて職員1名 退職
2月よりパートスタッフ1名異動予定